

# 祝 山田町合併50周年記念式典

## 祝 山田町・ザイスト市友好関係締結5周年

Tot ere van het 5-Jurig bestaan van de vriendschapsband tussen Yamada en Zeist



山田町合併  
50周年記念企画  
*History*  
of yamada town

平成17年10月23日

# 半世紀の歴史を礎に

# さらなる飛躍を誓う

山田町合併五十周年記念式典は十月二十三日、町中央公民館大ホールで開かれました。一町四村が合併して新山田町が誕生してからの半世紀の道のりを振り返るとともに、さらなる町勢の発展へ向け、町民が一丸となって進む決意を誓い合いました。

式典には町民や来賓約六百人のほか、友好関係締結五周年を記念し、オランダ王国ザイスト市からの訪問団八人も出席しました。

沼崎喜一町長は、「大きな課題も山積していますが、いかなる危機に遭遇しても町民の英知と町づくりへの情熱があれば、これを解決することを諸先輩の実践を通じて学ぶことができました。再び歴史の大きな転換点に立っている今、これまで体験したことのない急激な少子高齢社会という厳しい環境ではありますが、先人が築き上げてきた山田町の発展を期して、すべての町民の皆様とともに町づくりへの決意を新たにしたい」と式辞を述べました。

続いて佐々木良一町議会議長が「町民の皆さんと連携を一層強め、

海の青、山の緑を未来永劫まで大切に守りながら、新しい時代にふさわしい山田町として、さらに発展していくよう努力していきたい」とあいさつ。本町と友好関係締結五周年を祝し、オランダ大使館のマリオン・ベニク報道文化部長は、「何世紀もの時を経て、ザイスト市との友好関係が締結され、活発に交流が進められていることは、喜ばしい限りです。お互いの歴史や文化を知り、理解を深め、オランダとの素晴らしい交流が長く続くことをお祈りします」とメッセージを贈りました。

ザイスト市のルドルフ・ブックホーヴン市長はあいさつ(二十五頁)に続き、同市にある障害者施設で作られた色合い豊かな木製のA D O玩具を沼崎町長に贈呈。町



ザイスト市長から沼崎町長にA D O玩具が贈られた

からは本町とザイスト市の友好関係の推進に尽力され、近く市長を退任するブックホーヴン市長に、沼崎町長が感謝状を贈りました。

各分野において町勢の発展に大きく貢献された方々を表彰する記念表彰式では、町勢功労者十一人(自治功労二人、教育功労四人、納税功労二人、産業功労二人、統計功労一人)に対し、沼崎町長が一人一人に表彰状と記念品を手渡しました。引き続き永年勤続表彰五十五人、感謝状四団体、九十人の氏名が披露され、それぞれの受賞者を代表して、佐々木徳友さん(荒川・九)、菊地サカエさん(織笠・七)に感謝状と記念品が贈られました。

続いて、鈴木俊一衆議院議員、県知事代理の山瀬宗光宮古地方振興局長、佐々木俊夫県議会議員、宮古・下閉伊市町村長を代表して熊坂義裕宮古市長、姉妹都市の高岡顯尚千葉県山田町長、友好親善都市の青森県平賀町長代理の中畑雄一助役が祝辞を述べました。

アトラクションでは、山田町第一保育所園児の虎舞、荒川小学校児童の念仏剣舞、山田中学校三年生による合唱が披露され、節目の年を祝う式典に花を添えました。

山田町民歌の作曲者である木村悌郎さん(盛岡市・七)の指揮で町民歌を斉唱し、最後に山田漁業協同組合連合会の阿部金一代表理事会長の発声で万歳三唱。五十年の節目を期に本町の次なる進展に向け、町民と行政が一丸となって、

## あいさつ



オランダ王国ザイスト市  
市長 ルドルフ・ブックホーヴェン

本日皆さんをお迎えし、そして山田町合併50周年記念をともにお祝いできることは、私にとって非常に誇りであり、大変うれしく思います。私はまた、5年前に山田町と公式的友好関係を結ぶことに喜んで同意しましたオランダ王国にあるザイスト市の市議会や財団法人ホフライスの役員、それから私が以前山田を訪問する際に同行してくれた全員を代表して、お祝いを申し上げます。

私がこの行事へのご招待を受けたことをザイスト市議会に示したとき、彼らは是非そのご招待を受け入れるべきだととても熱心に満場一致で同意しました。

山田町から来た人々とザイスト市の人たちがお会いする時、私の注意を引き付けるものがありました。例えば、クリステリック・リセウム・ザイスト校と山田中学校が交流をした時、会話はすぐに私たちの自治体の類似点や相違点に行き着きます。これらの会話はとても私を楽しませてくれます。たとえ、初めて会ってお互いに何も知らなくても、あなたという人間はとても興味深いものです。これらの出会いや会話を通してお互いから学ぶとすることで、お互いに理解することができるのです。これは素晴らしいことです。

インターネットや衛星放送などの新しいメディアのおかげで、世界は小さくなりつつあります。このグローバル化の結果により、異なった国々の人々と触れ合うことが多くなりました。私たちはさらにお互いに頼りにするようになりました。これは、さらに国々や人々が個別に触れ合うことを可能にしました。最も重要なことは、仲良くできるということです。私たちがお互いの文化を理解し、友好的な関係を築くことができれば、私たちの世界は、よりよいものへと変化するでしょう。私たちはともに戦争のない、飢餓や貧困のない、そして自然や環境に配慮した世界を築き上げることができるのです。

それが近隣の国であろうと、地球の反対側の国であろうと、これは友好関係の絆で結ばれた自治体から得られる非常に大きな利益なのです。

この短い祝賀のご挨拶の終わりに、私が作った素晴らしい日本の伝統の俳句をご紹介します。

山田とザイスト みえざる絆 よりよい相互理解のために  
ご静聴ありがとうございました。